

# 朱七だより 臨時号

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/suzakudai7-s/>

## 平成26年度 後期学校評価

お忙しい中、アンケートの回答にご協力いただき、ありがとうございました。200を超える回答をいただきました。重ねてお礼を申し上げます。

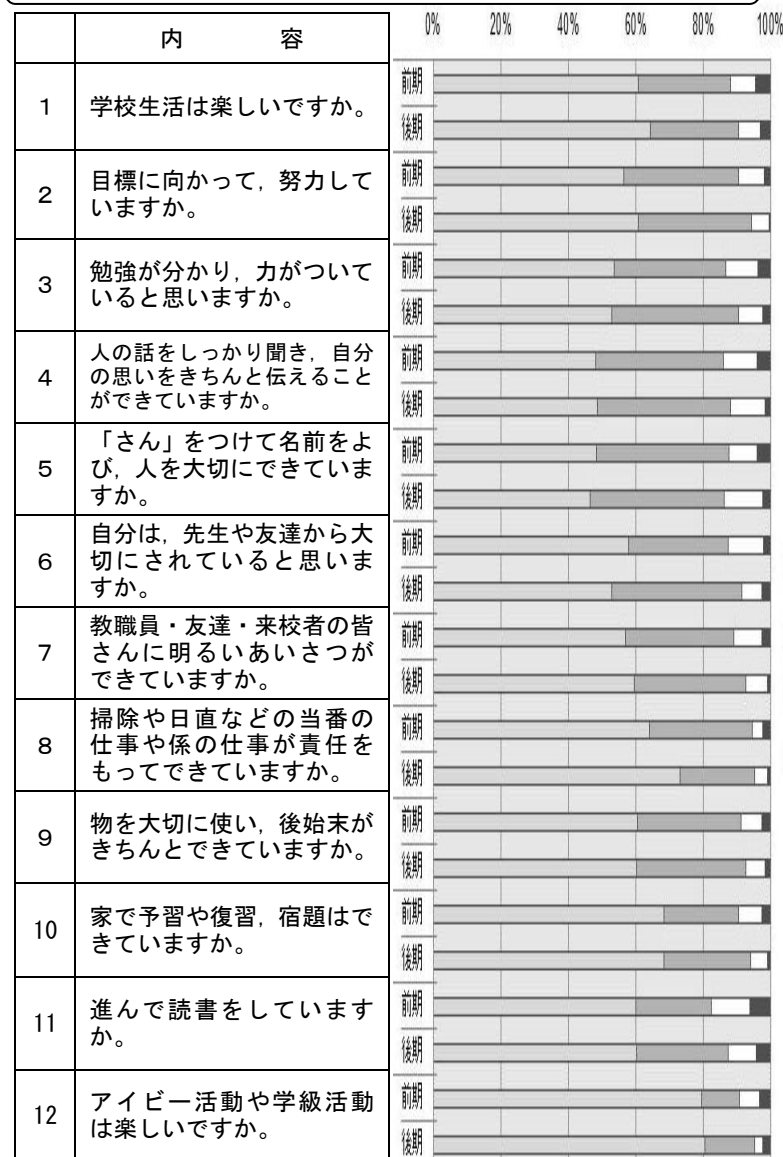
その集計結果について、学校運営協議会理事の皆様と一緒に考察いたしました内容をお知らせいたします。この結果を、学校・家庭・地域が今まで以上に連携しながら、「考え、伝え、ともに高め合う子」を育む今後の学校づくりに生かしていきたいと思います。

(グラフ上段は平成26年度前期、下段は後期の集計結果です。)

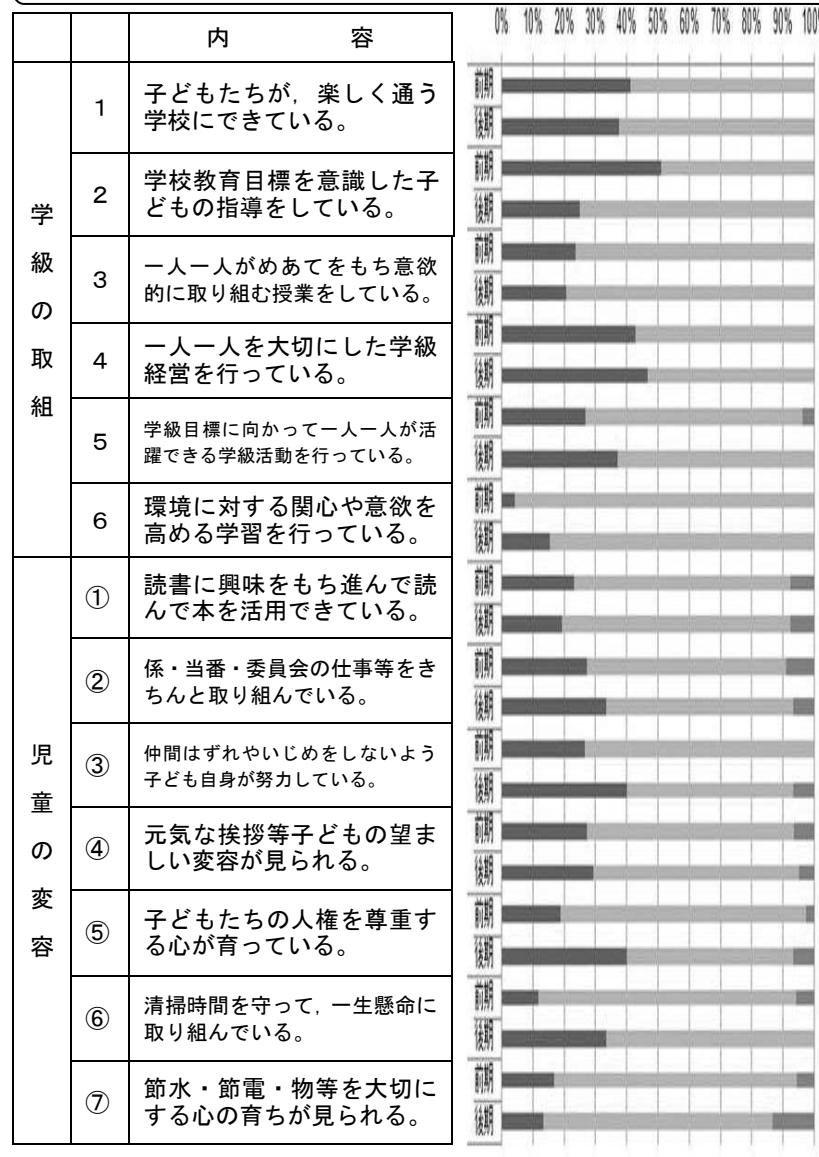
- A よくあてはまる・しっかりできている
- B ややあてはまる・どちらかといえはできている
- C あまりあてはまらない・どちらかといえはできていない
- D あてはまらない・ほとんどできていない

■ A  
■ B  
■ C  
■ D

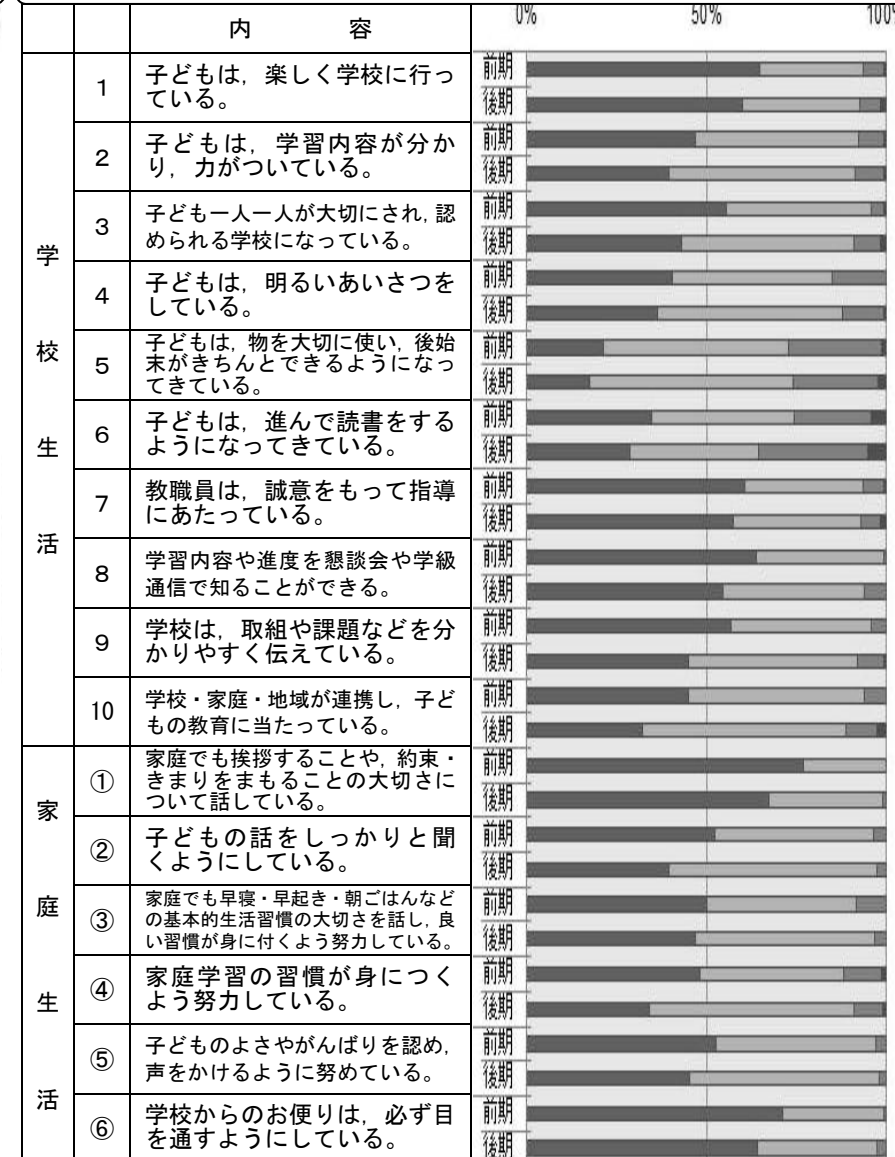
児童朱七生き生きアンケート結果



教職員アンケート結果



保護者アンケート結果





平成 26 年度

京都市立朱雀第七小学校

学校評価表（後期）

	分野	評価項目	評価指標	分析(成果と課題)	改善策
1	確かな学力	自分の考えを出し合える授業作り	教職員・保護者・児童アンケートの分析	・学習内容を理解できていると考える児童及び子どもの学習の力がついてきていると考える保護者が90%を超えている。教職員が児童一人一人を大切にし、学習のめあてを明確にして授業に取り組んでいる成果の表れである。	・すべての教科で、本時のめあてを明確にした授業を展開し、どの子どもも課題意識をもって学習に取り組めるようにする。また、少人数による話し合いを取り入れ、自分の思いや考えを出し合えるような授業を実践する。
		一人一人を大切にしたい分かる授業の創造	教職員・保護者・児童アンケートの分析	・家庭学習については、児童の95%程度ができていると答えており、学力の定着につながっている。	・昼の学習タイムをより効果的に活用するとともに、家庭学習の習慣化を図れるよう指導を進め、定着を図る。
		読書活動の充実	教職員・保護者・児童アンケートの分析	・人の話をしっかり聞き、自分の思いをきちんと伝えていることについて、できていると考える児童がほぼ90%で、「互いに認め合い、温かい人間関係を築く子どもの育成」をテーマに校内研究に取り組んでいる成果の表れである。教科学習において、より有効に活用させていきたい。	・読書については、これまでの取組(読み聞かせ・ブックトーク・国語での関連図書の紹介など)をさらに充実して、読書の楽しさを一層児童に伝える。また、図書館だよりなどで、家庭へ働きかけ、家庭での読書の習慣化を図る。
		家庭学習の習慣化	教職員・保護者・児童アンケートの分析	・「進んで読書をするか。」については、児童の90%に近い子どもができていると答えている。学校・学級での働きかけや取組、読書ボランティアによる読み聞かせ、冬休みの課題である親子読書よっての評価である。一方、保護者の65%しかできているとの回答を得られなかった。進んで読書に向っているかという観点では課題が残ったと分析する。	
2	豊かな心	規範意識の育成	教職員・保護者・児童アンケートの分析	・人や物を大切にしたり、自分が大切にされていると感じたりしている児童が90%以上、児童が大切にされていると感じたりしている保護者も90%以上と人や物を大切にすることが浸透してきている。これは、「互いに認め合い、温かい人間関係を築く子どもの育成」をテーマに学級活動に焦点を当て、さらに道徳教育にも力を入れ4年間取組を進めてきた成果である。また、学校生活を楽しいと評価したり、元気にあいさつ出来ていると評価したりする児童が90%以上で、その成果が表れである。	・人権教育の取組を今後も継続するとともに、人を大切にしない言動に対してはその都度、指導を重ね、人を大切にするこの価値をしっかりと考えられるようにする。
		人や物を大切にしたい心の育成	教職員・保護者・児童アンケートの分析		・校内研究で掲げてきたテーマ「互いに認め合い、温かい人間関係を築く子どもの育成」を継続し、日常の実践に活用していく。
		豊かな心の育成	道徳教育・学級活動の充実		・五感に働きかける様々な体験活動を学習に取り入れ、豊かな感性を育てていく。
3	健やかな体	基本的生活習慣の確立	生活アンケートの分析	・基本的生活習慣については、学年が上がるに従って就寝時刻が遅くなり、起床時刻も遅くなる傾向にある。	・生活点検を年3回行うことにより、自分の生活を振り返り、よりよい生活習慣を身に付けるように今後も働きかける。
		食育の推進	栄養教諭による授業の充実・給食の様子	・栄養教諭による継続的な指導を行うことで、児童に食の大切さを意識させるように取り組んでいる。	・保健だよりや学級・学年だよりなどでよい生活習慣が学習意欲などとも大きく関係があることを継続して知らせ、保護者の協力を求める。
		体力の向上	部活動の充実	・給食を減らしたり、食べるのに時間がかかったりする児童もいるが全体的に給食に対して感謝し、残菜はたいへん少なく、食育の指導の成果が表れている。	・今後も栄養教諭による食の指導を大切にするとともに、日常の給食時にもバランスのとれた食事が体の健やかな成長につながるよう指導していく。
				・体力の増進に向けて、運動系の部活動を5種目実施し、児童の興味に応じた活動が進められている。	
4	学校独自の取組	情報発信の充実	学校・学年・学級だよりの状況・学校ホームページの更新状況・保護者アンケートの分析	・学級だより・学年だより・学校だより、また、随時更新しているホームページでの学校・学年の様子発信などにより、大変多くの保護者から学校の取組に対してよい評価を得ている。	・環境教育における導入の部分や授業展開の工夫により、一人一人の児童に課題を明確に持たせ、解決にむかう過程で環境を守るために自らできることに取り組んでいこうとする態度を身につけられるよう授業の構築を図る。
		環境教育の充実	教職員アンケートの分析	・栽培活動や出前授業の実施などの体験活動を重視した環境教育を推進している。今後も、子ども自身が主体的に環境に働きかける契機となる取組を継続していきたい。	

学校関係者評価

学校運営協議会理事会

評価結果	改善に向けた支援策
・学校の雰囲気は、全般的によく、子どもたちも順調に成長している。 ・挨拶については、よくなってきており、元氣よく挨拶できる子が増えているが、主体性がやや弱い面がある。 ・物を大切に使う点では、普段の躾が大切である。 ・学校に協力していくために、地域、保護者でも意思疎通をさらに図っていくことが大切である。	・今後も学校教育への理解を深め、その推進のため、それぞれの立場でできることを支援・協力していく。

新年度当初の行事予定

- 4月
- 8日（水）始業式・入学式
- 13日（月）給食開始
- 17日（金）参観・懇談会（6年）・  
修学旅行説明会
- 21日（火）6年全国学力調査
- 23日（木）町別集会⑤
- 28日（火）参観・懇談会（1～5年）  
山の家・みさきの家説明会
- 30日（木）～5月1日（金）  
修学旅行
- 5月
- 8日（金）春の遠足（1～3年）
- 11日（月）～14日（木）家庭訪問
- 15日（金）春の遠足予備日
- 24日（日）日曜参観
- 25日（月）代休日
- 6月
- 2日（火）～5日（金）  
5年長期宿泊山の家
- 22日（月）～24日（水）  
4年みさきの家野外学習

変更がある場合には、新年度スタート時にお知らせします。